

2024年9月期 第2四半期
(2024/1-3)

決算説明資料

2024年6月
株式会社CSSホールディングス

目次

- 決算ハイライト p. 2
- 事業セグメント状況 p. 5
- 事業トピックス p. 8
- ESG経営指標 p.12

連結売上高9,135百万円、前年同時期比22.8%アップ

スチュワード事業

株式会社セントラルサービスシステム
株式会社セントラルホテルサービス

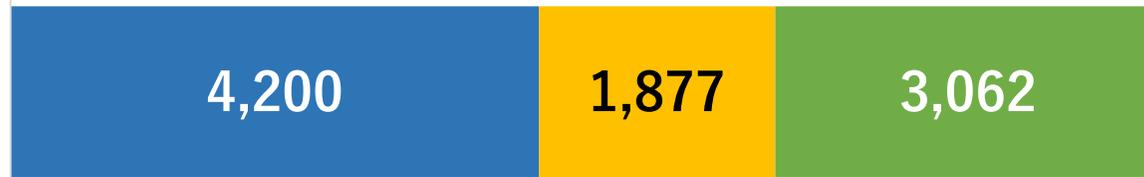
- ホテル・レストラン・テーマパーク等での食器等洗浄
- 同、客室・パブリックスペース・厨房等清掃

フードサービス事業

株式会社センダン

- ホテルの朝食レストラン運営
- 従業員食堂の運営
- 介護施設等の給食運営

2024.9期



35.9%UP



24.4%UP



7.9%UP

2023.9期



(単位：百万円)

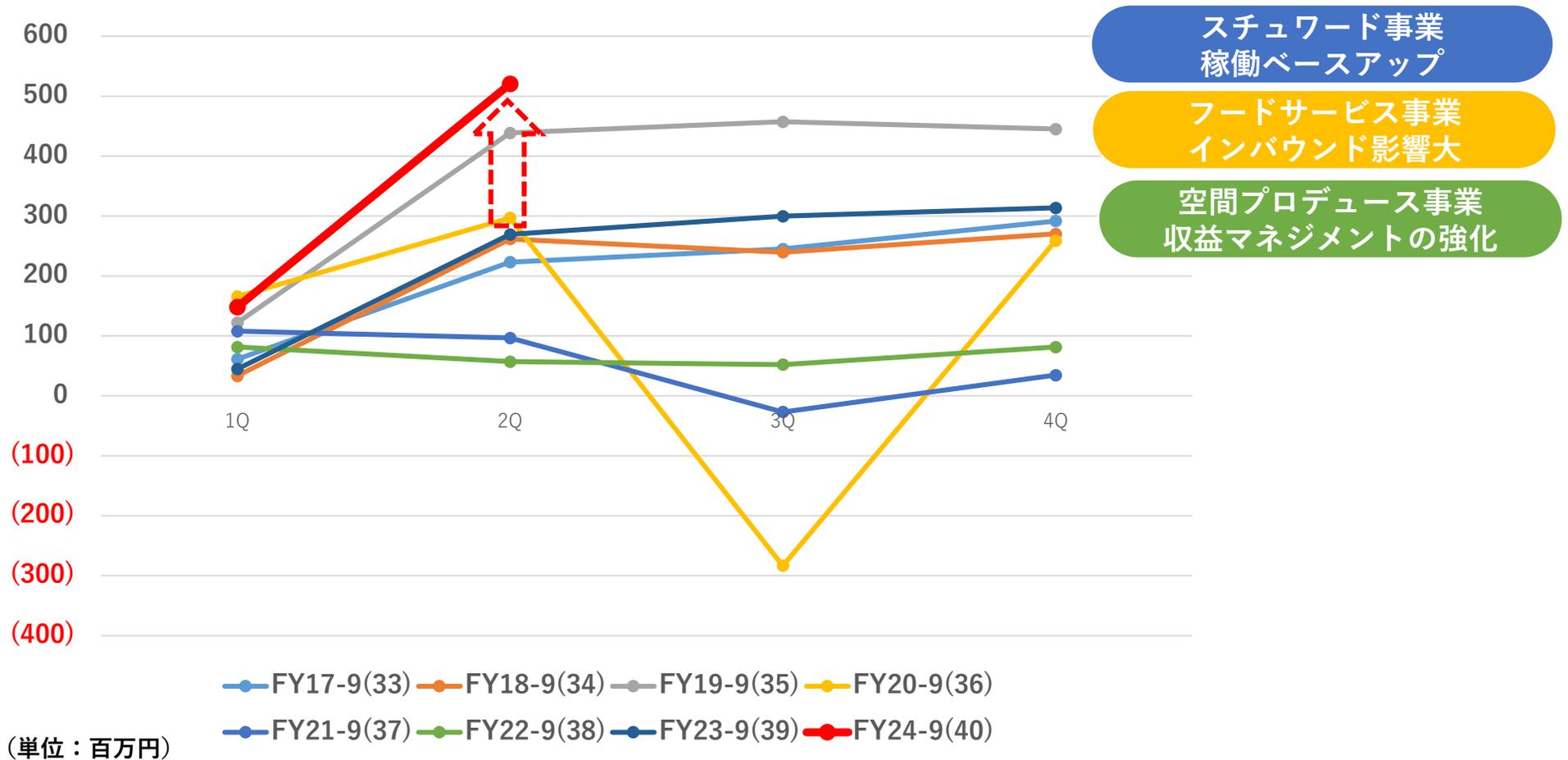
空間プロデュース事業

東洋メディアリンクス株式会社
音響特機株式会社

Mood Media Japan株式会社

- 防犯カメラ、AV機器等の販売・保守
- BGM・映像・香りによる空間ブランディング企画
- 大型・プロ仕様音響機器の卸販売

連結経常利益520百万円、前年同時期比93.2%アップ



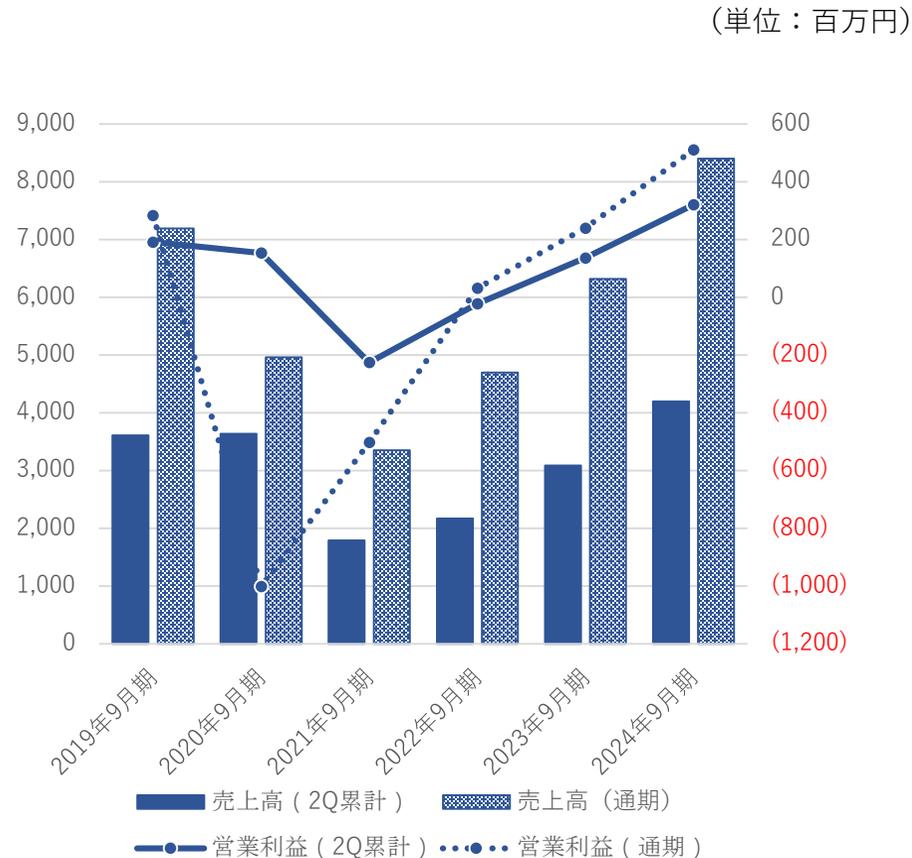
通期予想上方修正、通期配当30円予想

	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期	2022年 9月期	2023年 9月期	2024年 9月期 予想
当期純利益 (百万円)	△110	23	△420	102	230	371
純資産 (百万円)	2,639	2,573	2,124	2,168	2,346	2,634
総資産 (百万円)	5,855	5,604	4,701	5,096	5,700	5,700
ROE:自己資本利益率 (%)	△4.0	0.9	△17.9	4.8	10.2	14.9
EPS:1株当たり当期純利益 (円)	△21.81	4.65	△83.36	20.63	46.08	74.31
PBR:株価純資産倍率 (倍)	0.77	0.56	0.74	0.72	1.85	1.59
通期配当金 (円)	10	5	5	15	17	30

※2022年9月期の通期配当金15円および2024年9月期の通期配当金予想30円は、記念配当10円を含みます
 ※2024年9月期の（ ）内の数値は第1Q末時点です

スチュワード事業

第2Q累計・通期の売上高・営業利益推移



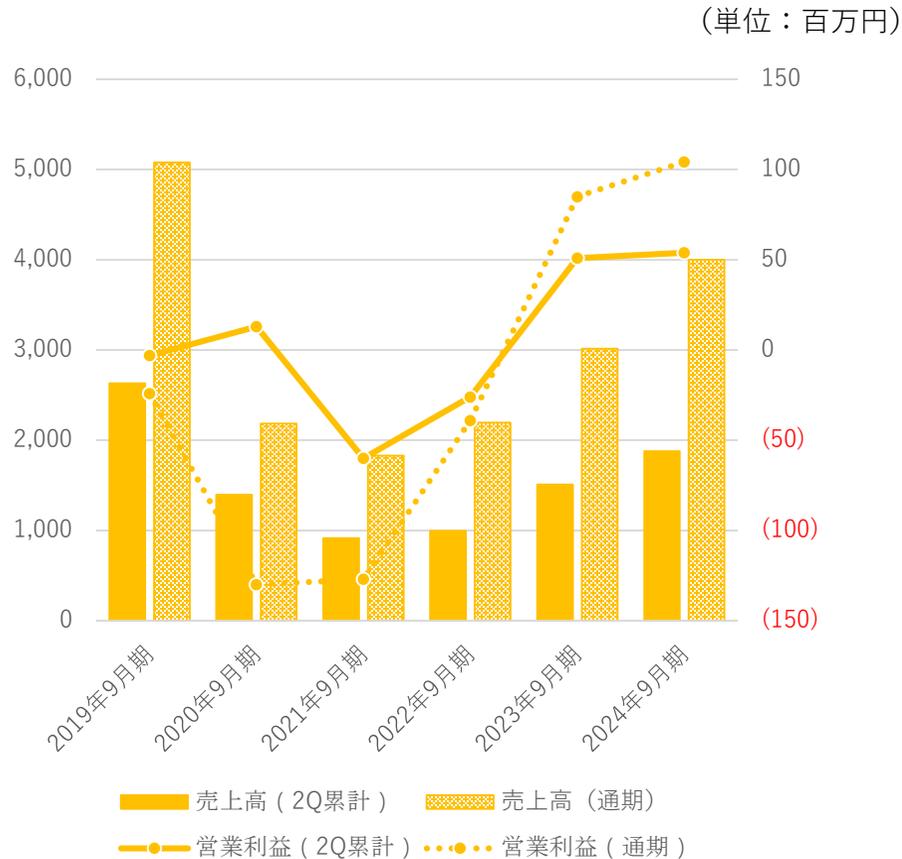
※2024年9月期の通期は予想

マーケット環境と取組状況

- 国内客およびインバウンド観光の需要が高い水準を維持、ホテルの客室およびレストランやテーマパーク施設などは1Qの高稼働水準を継続しました。
- 外資を中心に超高級あるいは宿泊特化型ホテルの開業も多く、当社への業務委託のお引き合いも堅調で、新たに3件の事業所を開業、上半期累計での新規開業は7件となりました。
- 急激な稼働率の上昇と新規事業所開業に対して、安定的な提供品質や労働環境の安全を維持することの重要性が増しており、密な実地点検や情報共有・必要かつ十二分なエスカレーションを今まで以上に強化しています。
- 4月1日には、新卒社員を新たに35名迎え、首都圏のみならず関西・東海・九州エリアへの配属を予定しております。

フードサービス事業

第2Q累計・通期の売上高・営業利益推移



※2024年9月期の通期は予想

マーケット環境と取組状況

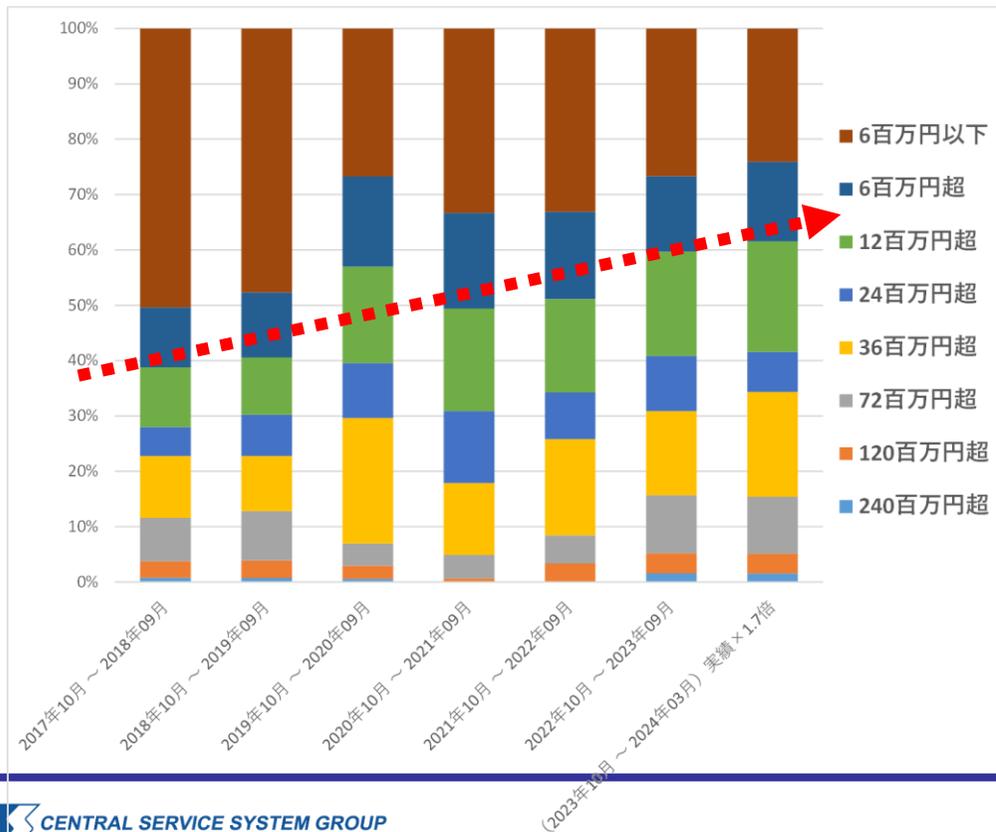
- スチュワード事業セグメントと同様に国内客観光およびインバウンド観光の需要が昨年来の高い水準を維持、さらに拡張トレンドにあり、朝食レストランの受託サービスを中心に業績が大幅に拡大しました。
- 当社への業務委託のお引き合いも着実に増加しており、新たに6件の事業所を開業、上半期累計での新規開業は9件となりました。
- 食材高騰に対応すべくコスト面のマネジメントは従来に増して注視しております。当社に限った環境要因ではないので、お取引先との交渉の中で価格転嫁を進めております。
- 4月1日には、新卒社員を新たに17名迎え、首都圏・関西・東海・中国エリアへの配属を予定しております。中でも首都圏ではライフケア領域の強化に重点を置いて顧客提供価値の多様化に向けて継続的に取り組んでいます。

Before / after Covid-19 の劇的な変化

スチュワード事業

売上高規模別、お取引先数構成比

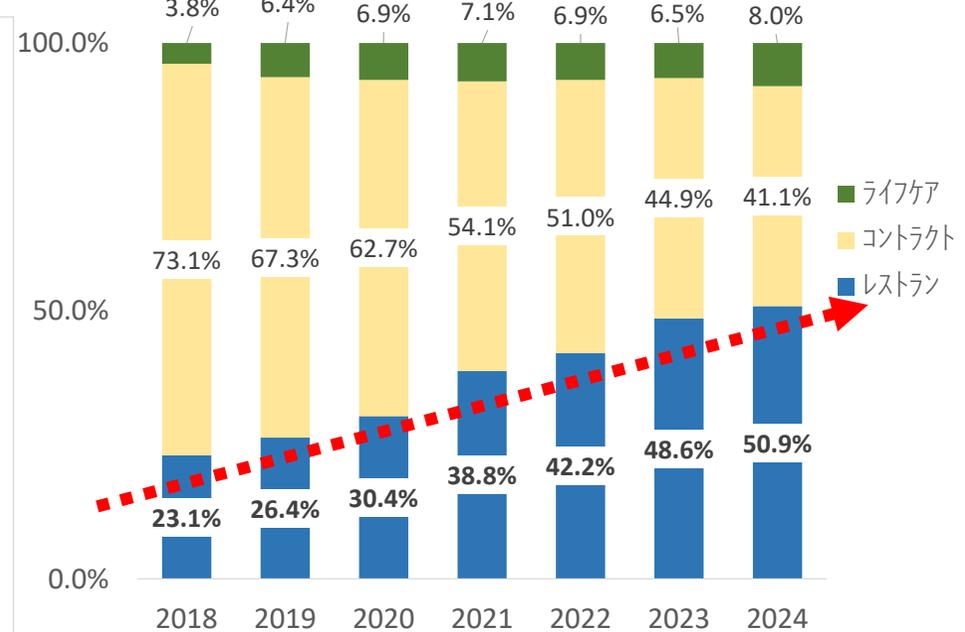
before ← Covid-19 → after



フードサービス事業

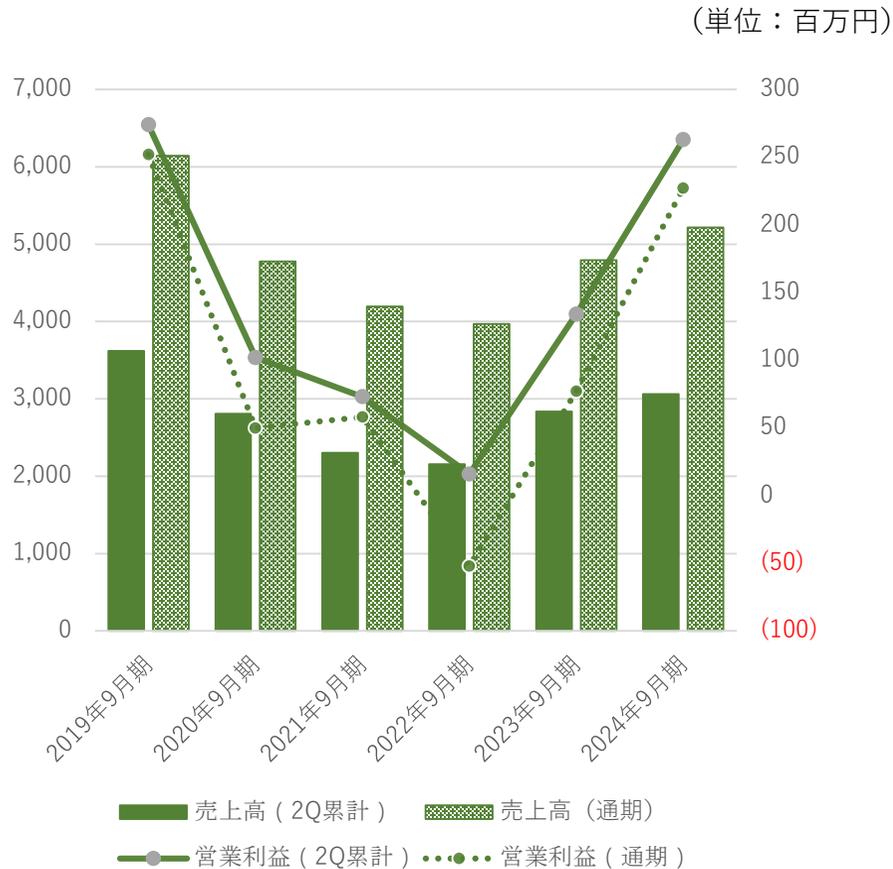
サービス形態別、お取引先数構成比

before ← Covid-19 → after



空間プロデュース事業

第1Q累計・通期の売上高・営業利益推移



※2024年9月期の通期は予想

マーケット環境と取組状況

- 東洋メディアリンクスにおいて、金融機関を中心にIVT（監視カメラ）関連の設備更新需要は堅調です。グリーンや照明など、新たな空間プロデュースソリューションを外部会社との連携で広げたことで、施工会社とのコミュニケーションが広がっています。
- 音響特機におけるプロ仕様の音響機器取り扱い、興行の活性化に準じて案件を増やしています。また、外資企業がグローバル標準のテレコミュニケーション設備を、当社が専任で取り扱う海外ブランド品指定で日本ブランチに求める施工が増加しています。
- Mood Media Japanにおいては、ホテル・観光・レジャー業界での施工品質の評価に業界の活況が相まって、ご紹介やセミナー・勉強会といった機会のお引き合いからの商談・施工が増えています。



ワインイベント「ProWine Tokyo 2024」



4月15-17日に東京ビッグサイトに世界中から5万人以上が来場したワインイベント「ProWine Tokyo 2024」では試飲グラスの洗浄についてWinterhalter社が設備提供し、洗浄運用を当社が受託しました。洗浄機設置ブースが閲覧可能となっており、来場者の関心を得るとともに、当社従業員にとって自尊心を高める機会にもなりました。



産学連携プロジェクトメニューが グループ会社レストランにて提供



大阪農業園芸・食テクノロジー専門学校のチームプレゼンによる商品提案によって入選したメニューが株式会社センダンが運営するレストラン「ナンバリボン」にて提供されました。コンセプトテーマである「昭和レトロなインスタ映えするメニュー」を、ゼロミート(肉不使用の大豆ミート)で実現したガレットやスコッチエッグが販売されました。



プロ機器展広島・機材フォーラムに出展



音響特機株式会社は、4月10・11日にNTTクレドホールで開催された「プロ機器展広島2024(旧 プロオーディオフェア広島)」に、4月18日にJ:COMホルトホール大分で開催された「機材フォーラム2024」に出展し、各種製品をアピールしました。音響特機オリジナルブランド製品の講習会やデモンストレーション、プレゼンテーションやセミナーなど大盛況となりました。



僕とうどんとカツオだし あべのキューズモール店オープン



株式会社パトリオットバトンは、3月19日に大阪天王寺駅・阿倍野駅直結のショッピングモール「あべのキューズモール」に「僕とうどんとカツオだし」の関西3店舗目をオープンいたしました。

「僕だし」は打ち立てうどんと自家製鰹出汁が自慢のお酒が楽しめるうどん店で、あべのキューズモール店のおすすめは下味がしっかりとついた国産鶏使用のボリュームーなとり天うどんです。



資産運用EXPO【春】上場企業による IR・株式投資セミナーに登壇いたしました



株式会社日本証券新聞社の協力のもと、1月19-21日に東京ビッグサイトで開催された「日本大級の投資商品の総合展・資産運用EXPO【春】」において、初開催の「上場企業によるIR・株式投資セミナー」に当社代表取締役社長の水野が登壇いたしました。

当日は定員を超える多くのお客様にご参加いただき、大盛況のうちに終了いたしました。



40周年記念感謝パーティを開催



CSSグループは本年の12月19日に迎える創業40周年を控え、東京2ヶ所・大阪・京都・福岡の各地で従業員を対象とした大感謝祭を開催致しました。各グループ会社の社長がホストとして社員をもてなす形でウェルカムドリンクをふるまい、40周年の振り返り動画や、クイズ大会、レクリエーションイベントなど、グループ全体で会社を超えて社員同士の親睦、交流を深めました。

2024年新規学卒者の入社式を行いました



CSSグループ入社式が4月1日に行われ、グループ全体で52名の新しい仲間を迎えることとなりました。ホテル稼働・インバウンド需要の高まりや高まる新規ホテル開業熱への対応で、グループ全体では中長期的な事業責任者の計画的な育成の必要性が顕著となっている背景から、10数年ぶりに中部・九州地区での採用活動を再開、全国規模での採用強化および人材育成を展開しています。

入社研修は今回から内容を一新し、スチュワードや衛生といった直接的な分野のみならず、リサイクルによるSDGsビジネスへの取り組みや、話題の新NISAなどのファイナンス知識など、社外スペシャリストのご協力により講義をいただき、ホテル・観光・レジャー業界を広く知ること、あるいは社会人としての一般的な教養など幅広く学ぶ機会としました。また、配属外のグループ会社の体験機会など、グループ全体が提供する事業価値を実感できるようなカリキュラムを行いました。

親睦会では役員や諸先輩と交流を深め、新社会人生活をスタートいたしました。

人的資本指標 (2023年9月末時点)

連結従業員数

(うち、パート・アルバイト)



6,559名
(6,002名)

女性管理職比率



20.4%

シニア従業員雇用率

※65歳以上



19.7%

パート・アルバイト
永年勤続表彰者数



127名

※2023年度の10年・
20年勤務者合計

有給休暇取得日数



平均7.4日

産・育休取得率

※女性社員



100%

産・育休復帰率

※出産女性社員



1/11人

外国人従業員

国籍数



77カ国

※過去10年実績

免責事項

本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



CSSグループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

お問い合わせ

株式会社CSSホールディングス 経営企画室

TEL 03-6661-7840

FAX 03-6661-7841

E-mail hld-info@css-ltd.co.jp